

地域連携

だ よ り

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050 (代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

あけましておめでとうございます

がん診療の中核病院として
～地域の先生方と共に～



なかの あきら

病院長 中野 顯



新しい年、2026年の幕開けにあたり、皆様に心よりお祝い申し上げます。旧年中は、彦根市立病院へのご支援と湖東地域における医療体制の維持に多大なるご尽力を賜り、誠にありがとうございました。病院職員一同を代表し厚く御礼申し上げます。

さて、近年多くの医療機関が厳しい経営状況に直面しております。彦根市立病院も例外ではなく、コロナ禍以降、非常に厳しい状況が続いております。診療報酬の実質的なマイナス改定や、人件費・光熱費の高騰、老朽化した施設への設備投資負担など、解決が難しい課題が複合的に存在しており、対応に苦慮しております。しかしながら、当院の経営悪化により湖東地域における医療の質が低下し

てはなりません。職員一同、一丸となってこの危機を乗り越えるべく、日々努力を重ねております。そして、本年も引き続き、近隣の医療・介護機関との連携を深め、地域の皆さんと共に持続可能な地域包括ケアシステムの構築を目指してまいります。地域の医師の皆さんをはじめ、関係者の皆さんには、今まで以上のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

またかねてより念願であった放射線治療専門医の着任を昨年果たすことができました。通院治療センターの拡充とあわせて、質の高いがん診療の実現に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2025年10月より

放射線治療専門医の着任



放射線科 藤田真司

大学卒業年

2010年

出身大学

富山大学

所属学会

日本循環器学会 日本内科学会
日本インターベンション学会

出身地

大阪府

【彦根市立病院 放射線科 着任のご挨拶】

私は2010年に富山大学を卒業した後、2012年金沢大学放射線治療科に入局し、石川県と富山県にて放射線治療全般の研鑽を重ねてまいりました。大学病院では、主に前立腺癌の小線源治療に携わってまいりました。

専門医取得後は愛知県に拠点を移し、民間の病院にて回転型強度変調放射線治療(VMAT)と定位放射線治療の立ち上げに尽力いたしました。これまで、VMAT(前立腺癌、肺癌、食道癌、頭頸部腫瘍、原発性脳腫瘍、子宮頸癌、直腸癌、肛門管癌など)、定位放射線治療(転移性脳腫瘍、肺癌、肝臓癌、転移性骨腫瘍、オリゴメタなど)を数多く手掛けてまいりました。

私自身は大阪府の出身で、約20年ぶりに関西に帰ってくることができ、大変嬉しく思っております。滋賀県や彦根市に住んだ経験はございませんが、豊富な自然環境を満喫できることを楽しみしております。

彦根市立病院は長らく常勤の放射線治療医が不在であったと伺っております。若輩の身ではございますが、地域の皆様に安心して質の高い放射線治療を受けていただけるよう、全力を尽くす所存でございます。

放射線治療は一つの科で完結するものではなく、院内の先生方はもちろんのこと、地域の先生方との連携が不可欠でございます。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程、心よりお願ひ申し上げます。

敬具

今後も継続して

これまで放射線治療医師は週2回の診察でしたが、2025年10月から常勤放射線治療医が着任したことに伴い、常勤専従看護師と常勤専従診療放射線技師を配置しました。

今後も京都大学病院より週1回非常勤放射線治療医師の派遣を受けながら、診療を継続してまいります。引き続き、「**定位放射線治療SRT / SRS**」などの高精度放射線治療の導入に向けて協力いただけます。

放射線治療に関するご相談やご紹介を より円滑にお受けできる体制となっています。

がんの治療方法には、「手術療法（外科治療）」、「化学療法（抗がん剤治療・薬物療法）」、「放射線療法」があり、これをがんの三大療法と呼んでいます。さまざまな検査を行い総合的に判断し、患者さんにとって一番効果的な治療法、また組み合わせた治療を患者さんに提供しています。

放射線治療は体にやさしい治療です

放射線治療は体を切らずにがんだけを狙って治療します。

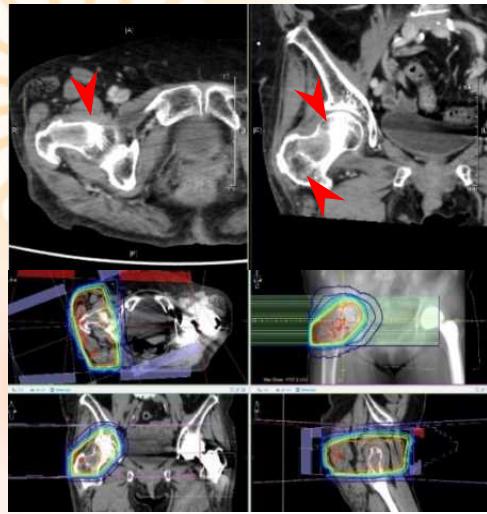
手術のように病巣を取り除くことなく、組織や機能を残したまま治療できます。放射線治療そのものはほぼ痛みを伴わず、患者さんの身体的負担も少ない治療法です。



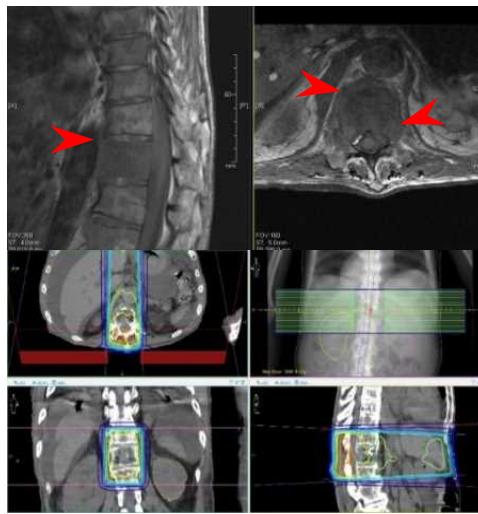
【放射線治療のメリット】

- ・体の機能や形態を失わない。
- ・体への負担が少なく、高齢者や合併症で手術が難しい人にも適応できる。
- ・手術が困難な部位でも適応できる。
- ・外来通院で治療を受けることができる。
- ・進行したがんの症状緩和にも効果がある。

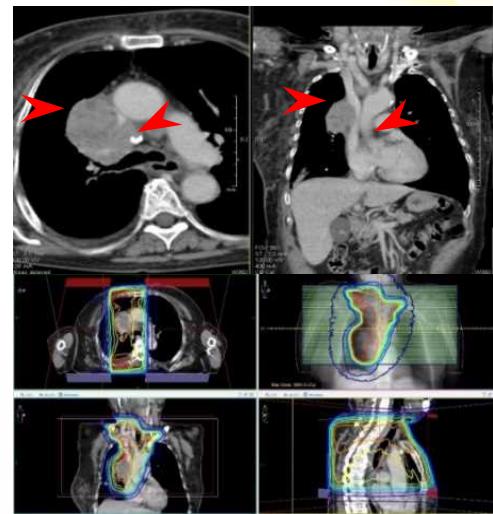
(転移性骨腫瘍による痛みの緩和、転移性脳腫瘍による神経症状の緩和など)



右大腿骨の骨転移に対する緩和照射



Th12骨転移に対する緩和照射



SVC症候群を伴う肺がんの照射

放射線治療を当院では・・・

10月～12月で33件の実施を行っています。

肺がん、前立腺がん、乳がん、骨転移などの方を対象に行っています。

安心して治療を受けられる、地域のがん診療体制

放射線治療には皮膚炎・粘膜炎・骨髓抑制などの副作用が生じる可能性がありますが、常勤医師なら、その場で評価や対応が可能です。また、緊急性のある場合でも、非常勤医師より素早い判断・処置ができ、放射線治療を希望される患者さんの受け入れまでの時間が短くなります。

毎日、医師がいるため、質問や不安があってもすぐに相談できる環境になり、医師が患者の状態を継続的に把握でき、より個別化された治療・説明が行いやすくなります。

「いつも同じ医師がいる」という安心は、治療継続にとって大きな心理的支えとなり、医師との信頼関係が深まり、治療への納得と満足度が高くなることが期待できます。

また専従の看護師・診療放射線技師の配置により、日々の変化や副作用に早期に気づき、医師と連携して患者ケアに当たります。

放射線治療室



照射時の様子



湖東保健医療圏の中核病院として、放射線治療という専門医療の受け皿となり、地域の患者が遠方へ行かずに高度医療を受けられる体制を構築していきます。放射線治療医が常勤することで、治療の幅が広がり、**緊急照射、高精度照射、再照射、併用療法**なども安定的に実施可能と考えています。

骨転移などの診断が確定している患者の緊急照射など、地域医療連携室を通じ、藤田医師と相談いただくことで、当日照射も可能です。

地域のがん診療を支えてまいりますので、患者のご紹介をよろしくお願いします。

